

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和2年度）

1. 施設名等

施設名	大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館	所在地	杵築市山香町大字日指1番地1
		電話番号	0977-28-7111
		ホームページ	http://oita-agri-park.or.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	(公社)大分県農業農村振興公社 大分市舞鶴町1丁目4番15号 令和3年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課 (局・室)	農林水産部 地域農業振興課 TEL：097-506-3582
-------	-------------------	---	-----------------	-----------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成13年4月21日
設置根拠	大分農業文化公園の設置及び管理に関する条例 大分県都市農村交流研修館の設置及び管理に関する条例
設置目的	(大分農業文化公園) 豊かな自然と親しみながら農業・農村の文化等に関し学習する機会を提供することにより、農業・農村及び自然環境に対する県民の理解を深めるとともに、新しい農業・農村づくりに資する。 (大分県都市農村交流研修館) 都市と農村との交流の促進を図るとともに、農村女性の能力の開発及びネットワークの形成に資する。
事業内容	(大分農業文化公園) ①農業文化公園の施設及び設備の利用に関すること。 ②農業・農村に係る情報の提供に関すること。 ③都市と農村との交流の促進に関すること。 ④①～③に掲げる事業のほか、農業文化公園の目的を達成するために必要な事業。 (大分県都市農村交流研修館) ①都市と農村との交流に関する研修等を行うこと。 ②農村女性の能力の開発及びネットワークの形成に関する研修等を行うこと。 ③農業・農村に関する情報を収集し、及び提供すること。 ④交流研修館の施設及び設備の利用に関すること。 ⑤①～④に掲げる事業のほか、交流研修館の目的を達成するために必要な事業。
施設内容	(大分農業文化公園) メイン施設(事務室、物産館、花昆虫館、レストラン、大分県都市農村交流研修館)、みどりの広場、フラワーガーデン、葉草薬木園、果樹園、クラインガルテン、体験農園、コテージ、オートキャンプ場、つばき園、花木園、ピクニック広場、駐車場、トラムカー、その他施設(貸し自転車、ボート、大型遊具等) (大分県都市農村交流研修館) 大研修室、研修室、会議室、和室、手づくり工房、調理実習室
使用料等	【大分農業文化公園：利用料金】 オートキャンプ場利用料：4, 200円/泊、デイキャンプ(日帰り)：1, 900円/回、 コテージ利用料：10, 500円/泊(週末等14, 700円/泊)、 ボート：1, 000円/30分、 自転車：350円/2H、電動トラムカー：200円/回 【大分県都市農村交流研修館】 大研修室：3, 100円/H、研修室：1, 300円/H、会議室：850円/H、 手づくり工房：950円/H、調理実習室：650円/H、和室：450円/H、マイク：500円/本
閉館日	毎週火曜日、1月1日(ただし、臨時に休園し、又は休園日に開園することがある。)

4. 目標指標の達成状況

(大分農業文化公園)

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
入園者数(人)	平成29年度	330,000	261,490	79.2%
	平成30年度	330,000	239,154	72.5%
	令和元年度	330,000	293,713	89.0%
	令和2年度	330,000	243,670	73.8%

(大分県都市農村交流研修館)

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
研修充足率(%)	平成29年度	95	100	105.3%
	平成30年度	95	99	104.2%
	令和元年度	95	95	100.0%
	令和2年度	95	85	89.5%

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
研修満足度(%)	平成29年度	90	94	104.4%
	平成30年度	90	96	106.7%
	令和元年度	90	96	106.7%
	令和2年度	90	92	102.2%

5. 施設の利用状況

(大分農業文化公園)

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
	平成29年度	30,198	45,074	14,419	17,560	24,156	30,015	
	平成30年度	35,042	34,998	13,026	11,011	20,374	26,506	
	令和元年度	52,387	49,693	11,431	15,923	16,042	28,862	
	令和2年度	20,712	11,853	10,017	9,752	15,887	31,390	
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平成29年度	19,346	26,129	8,295	7,754	6,564	31,980	261,490	
平成30年度	23,354	26,099	6,381	7,783	9,226	25,354	239,154	
令和元年度	34,153	32,725	6,178	9,153	15,794	21,372	293,713	
令和2年度	61,429	28,379	7,660	6,183	17,360	23,048	243,670	

(大分県都市農村交流研修館)

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	4,952	12,404	1,658	740	1,996	621	
	平成30年度	6,383	7,023	590	597	917	3,676	
	令和元年度	6,591	8,680	568	1,255	538	3,890	
	令和2年度	0	0	217	194	336	150	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	4,848	4,826	838	193	183	809	34,068
	平成30年度	4,759	4,521	680	382	474	2,501	32,503
	令和元年度	764	7,689	482	863	302	5	31,627
	令和2年度	534	472	133	132	73	150	2,391

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	園内4カ所(正面ゲートエントランス、物産館カフェ前、東管理事務所、ミニ動物園)にアンケートを設置し、消毒などの新型コロナウイルス感染症拡大防止策を行いながら回収箱にて回収。 秋に見ごろを迎えたコキア鑑賞と同時期の大分県産肉応援キャンペーン時には、県産肉抽選応募箱を設置し、アンケートの声かけ、ネモフィラの種プレゼントなどを行う工夫で飛躍的に回収数を増加させた。
	実施結果	4,687件の回答 <ul style="list-style-type: none"> ●来園者居住地別(県別):「大分県」84.1%、「福岡県」13.5%、「熊本県」0.9%、「佐賀県」0.5%、「宮崎県」0.5%、「長崎県」0.4%、「その他」0.1% ●来園者年齢層:「60代」21.0%、「40代」18.0%、「30代」16.8%、「70代以上」15.7%、「50代」15.1%、「20代」5.4%、「10代」4.9%、「10歳未満」3.0% ●利用目的:「自然観察」51.0%、「健康促進」19.7%、「遊具利用」13.1%、「イベント」7.3%、「宿泊/キャンプ」6.4%、「収穫体験」2.0%、「釣り」0.5% ●利用満足度:「非常に満足」34%、「満足」54%、「普通」11%、「不満」1%、「非常に不満」0% ●来園時人数:「2名」41.6%、「4~9名」33.8%、「3名」20.2%、「1名」3.0%、「10名以上」1.4% ●滞在時間:「2時間」72.4%、「4時間」19.8%、「6時間」6.6%、「8時間」1.2% ●利用グループ:「家族」87.0%、「友人」9.0%、「会社・グループ」1.9%、「一人」1.4%、「その他」0.7% ●来園回数:「1回」31.7%、「2回」24.5%、「4~9回」18.2%、「3回」17.1%、「10回以上」8.5% ●情報媒体:「インターネット(ホームページ・SNS等)」38%、「テレビ」20%、「友人」15%、「新聞」11%、「情報誌」7%、「チラシ・ポスター」3%、「ラジオ」2%、「その他」4%
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
宿泊場所を増やしてほしい。フリーサイトキャンプ場があればよい。		フリーサイトキャンプ場を令和2年8月に新設。 利用が少なかったグラウンドを整備して有効活用し、新しい人気エリアの一つとなっている。
花が綺麗。もっとイベントのPRなどを行っても良いのでは。		新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、ハーブガーデンの再生やコキアガーデンなどの見所整備を行い、必要な情報発信に努めた。
飲食がもっと充実すればよい。		大分県産肉応援キャンペーンや、新鮮産直市などをはじめとする対面販売等を実施し、飲食の提供を充実させている。

7. サービス向上に係る主な取組内容

<p>サービス提供体制の強化</p>	<p>(大分農業文化公園)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① フラワーガーデンをネモフィラ(春)、コキア(夏、秋)で埋めつくすことができるように、台風対策の風よけのネット張りをはじめ、日ごろの手入れを欠かさず行った。努力の甲斐があり、昨年は色づくことが難しかったコキアも綺麗な真紅に染まり、10月は単月で開園年度に次ぐ多さとなる6万人超の来園があり、大変好評であった(開園年度は農業祭を開催)。 ② 「ハーブガーデン」の再生に向けた整備、「葉草薬木園」の老木伐採やアジサイ新植、「風のリズム広場」の「ミニ動物園」の拡充や、「果樹園」のブルーベリーの新植など、園内全体を次々と綺麗に整備し、見所の拡充を行っている。 ③ 利用が少なかったグラウンドを整備し、利用者要望に応えたフリーサイトキャンプ場を新設、8月から予約を開始した。また、オートサイトキャンプ場の一部の芝張替えも行い、要望が多かった利用者からの声に応えることができた。 ④ 「豊の国物産館」のエアコンを更新し、夏場の猛暑対策を整えるとともに、物産館内の「木と子どものエリア」に小さい子供でも遊べる室内用遊具を設置することで、雨の日でも遊べるスペースの拡充も行った。 ⑤ 「みどりの広場」や「フリーサイトキャンプ場」は雨天後の水はけが悪く使用できない状態にあったため、排水性改善のための暗渠を埋め込み、効果的なサービス改善を行った。 ⑥ Youtubeを活用して、上空からドローンで撮影した花の映像などの発信を行ったり、花や植物の生育状況や収穫体験などのイベント情報をホームページやFacebookを通じて日常的に投稿したり、継続した広報活動を強化している。また、テレビ局や新聞社にイベントが取り上げられ告知される機会が多くなり、ヤフートップニュースの写真としてコキアが使用されたり、ホームページのアクセス回数が例年の2倍となる189,372件となったり、ひいては入園者の増加にもつながっている。 <p>(大分県都市農村交流研修館)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子供向け体験講座等の日程をイベント開催時に合わせたり、夏休み自由研究向けに特化することで、利用者ニーズに応え、利用者数の増加を図った。 ② 新型コロナ対策を徹底したうえで、人気があり定着している大人向けの講座については、内容を見直しながら実施するとともに、子供と若い子育て世代なども参加しやすい講座の実施も行い、幅広い世代の人が安心して受講できた。
<p>イベント等の充実</p>	<p>(大分農業文化公園)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コロナ禍で消費、価格が低迷している県産肉や地元農産物を応援するためのキャンペーンを実施した。飲食店や地元住民等と連携して、行楽シーズンを中心に開催し、県産野菜や、「おおいた和牛」、「大分で育った豚米の恵み」、「おおいた冠地どり」など食を通じて大分県産品のPRを行った。また、地元農家やJAとも連携を図り、「新鮮産直市」を実施し、地元野菜や加工品などのPRも行った。 ② 小学生やその保護者が、自然に詳しい森の先生と一緒に園内を巡る「親子de自然観察会」を全国育樹祭の関連行事として初めて行ったことで、参加者の自然への興味関心を高め、楽しく自然の知識を学ぶことができて好評だった。 ③ 大分県ウォーキング協会と連携しながら、大分農業文化公園を中心としたウォーキング大会を開催し、健康アプリ「おおいた歩得」とも絡めた健康増進イベントを行い、健康増進へのきっかけづくりをができた。 ④ 県の花きグループとともに、県の戦略品目であるホオズキの栽培やホオズキ市を開催することで、県産ホオズキへの関心を高めた。 <p>(大分県都市農村交流研修館)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「葉膳料理教室」、「こうじde加工講座」は、健康ブーム、免疫力を高めることができるという理由からか、コロナ禍の中でも人気講座となった。講師陣も魅力ある人選であったことが、研修充足率および満足度の高評価に繋がっている。 ② 「果樹の栽培方法を学ぶ講座」は昨年度からの講座であるが、果樹園で季節にあった作業を少人数で実際に行うことで、参加者にもわかりやすく学んでもらうことができ、個別質問の対応もでき、非常に好評だった。 ③ 研修館の利用については、今年度はコロナ禍で貸館人数制限や室内開催講座の中止および人数制限等が影響し、大幅に規模を縮小した形での実施とならざるを得なかったが、コロナ対策を行いながら少人数でわかりやすく全般的に満足度の高い講座を提供できている。

8. 管理に係る収支の状況
(大分農業文化公園)

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入額(A)		189,025	189,806	180,181	191,702
内 訳	県からの委託料	107,145	107,145	107,648	109,130
	管理維持体制持続化事業負担金	0	0	0	16,797
	利用料金	31,658	31,196	31,484	28,137
	サービス改善提案事業委託料	1,080	1,080	1,100	1,100
	飲食収入	15,314	13,782	15,141	13,132
	物品販売収入	30,673	35,006	23,208	22,065
	補助金等収入	2,122	895	100	0
	その他(自動販売機手数料等)	1,033	702	1,500	1,341
支出額(B)		189,025	189,806	180,181	191,702
内 訳	人件費	73,556	72,004	69,320	72,211
	維持管理費	58,852	56,440	64,347	71,594
	事業費	52,317	56,889	43,875	41,592
	サービス改善提案事業委託料	1,080	1,080	1,100	1,100
	補助金等	2,122	1,128	458	0
	その他(他会計振替額)	1,098	2,265	1,081	5,205
収支差額(A-B)		0	0	0	0

(大分県都市農村交流研修館)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入額(A)		24,737	24,870	24,538	23,574
内 訳	県からの委託料	21,772	21,772	21,861	22,176
	利用料金	1,074	990	941	304
	事業収入	1,890	2,108	1,736	1,094
	その他(受取利息)	1	0	0	0
支出額(B)		24,737	24,870	24,538	23,574
内 訳	人件費	6,518	6,338	8,225	8,186
	維持管理費	13,710	14,715	13,189	12,674
	事業費(研修関係費)	3,882	3,186	2,455	1,835
	その他(租税公課、他会計振替額)	627	631	669	879
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況
(大分農業文化公園)

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	3,371	5,412	1,781	2,962	5,828	3,657	
	平成30年度	4,114	3,976	1,835	2,103	6,080	3,069	
	令和元年度	4,381	5,742	1,650	2,839	4,549	3,534	
	令和2年度	438	1,231	1,377	1,820	4,817	4,960	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	2,319	2,447	286	357	203	3,035	31,658
	平成30年度	3,006	2,911	463	388	410	2,841	31,196
	令和元年度	4,064	2,776	608	348	874	119	31,484
	令和2年度	4,683	4,016	873	236	1,173	2,513	28,137

(大分県都市農村交流研修館)

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	79	177	93	42	158	50	
	平成30年度	70	203	63	20	85	42	
	令和元年度	80	127	63	22	143	76	
	令和2年度	0	0	18	12	25	45	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	169	139	67	13	4	83	1,074
	平成30年度	115	142	27	11	152	60	990
	令和元年度	48	300	26	46	10	0	941
	令和2年度	68	74	15	21	15	12	305

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	<p>大分県農業農村振興公社</p> <p>└─ 大分農業文化公園管理事務所</p> <p>└─ 園長(正規1名) ─┬─ 公園総務課 課員2名(契約職員2名)</p> <p>└─ 事業研修課 課員6名(契約職員6名)パート15名</p> <p>└─ 施設環境課 課員5名(正規1名、嘱託職員4名)パート15名</p> <p>└─ 農業課 課員4名(契約職員2名、嘱託職員2名)パート4名</p>							
	職員数 (R2.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	2	34	6			10	52	

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品適正表示講習会(9月)を受講し、事業研修課職員が必要な知識を習得に努めた。 ○ 杵築市人権フェスティバル(12月)に参加し、人権に対する意識の向上に努めた。 ○ 毎月職員全体が参加する全体会議を開催し、それぞれの情報・課題共有や意見交換を行い、意識向上等に繋がった。
防災に関する研修・訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署指導のもと、全職員が防火総合訓練(11月、3月の2回)に参加し、避難誘導や火災時対応の訓練を行った。
安全対策等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本赤十字社大分県支部指導のもと救護研修を2回開催し(1月)、パート職員を含むほぼ全職員が緊急時での救命対応等ができるように訓練を行った。